

2025 年 6 月 23 日
株式会社深松組
代表取締役社長 深松 努

東北 6 県の地場建設会社とみずほ銀行が連携し「東北アライアンス建設株式会社」を設立 － 地域建設業の持続的成長と価値継承を目指して －

株式会社深松組（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：深松 努）は、東北 6 県を代表する地場建設会社 6 社※1 および株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」と共に、「東北アライアンス建設株式会社」（代表取締役：陰山 正弘、以下「東北アライアンス建設」）を 6 月 30 日に設立予定です。

本プロジェクトは、地域建設業各社が直面する構造的課題に対する、県境を越えた連携による解決を図る画期的な取り組みであり、東北地域の経済活性化と将来への価値継承を目的としています。

地域課題への挑戦と広域連携による新たな価値創出

東北地域では、東日本大震災からの復興需要減退に加え、人口減少と市場の縮小が進行し、多くの建設会社が経営資源の最適化や人材不足、技術継承の課題に直面しています。

こうした環境を鑑み、東北 6 県の主要建設会社の合併体制による 東北アライアンス建設を設立することとしました。

地域に根ざした建設企業が連携することで、単独では困難であった「広域プロジェクトへの対応」や、「デジタル化・DX化推進」、さらには「大規模災害発生時の迅速な対応力の強化」を実現します。

みずほ銀行との連携による信用力・経営力の強化

本プロジェクトには、金融機関としての専門性と広範なネットワークを持つみずほ銀行が参画し、信用力の補完にとどまらず、経営強化の観点からも東北アライアンス建設を支援し、地域における新たなサプライチェーンの構築やアライアンス形成に貢献します。

さらに、みずほ銀行のイノベーションネットワークを活用し、東北アライアンス建設は 中堅・中小建設企業におけるDX推進のモデルケースとして、生産性の向上やコスト最適化を目指します。

今後の展望

東北アライアンス建設は、単独ではなく 共創による「新たな地域価値の創出」と、「持続的な成長」の実現を掲げ、地方建設業の次代を担う存在として、これからの地域づくりを支えていきます。

設立会社の概要

① 会社名称:東北アライアンス建設株式会社

② 本店所在地:福島県郡山市

③ 規模と資本金の概要

発行株式数:14,000 株(総額 1.4 億円)

資本金:7,000 万円、資本準備金:7,000 万円

④ 審査・許認可手続

会社設立は 2025 年 6 月 30 日を予定しております。

建設業許可を取得する契約条件が示されており、運営が円滑に開始できる体制が構築されます。

※1【東北アライアンス建設の構成企業】

所在地	企業名	代表者
宮城県	株式会社深松組	深松 努
福島県	陰山建設株式会社	陰山 正弘
秋田県	大森建設株式会社	大森 三四郎
山形県	幸栄建設株式会社	佐藤 信勝
岩手県	株式会社タカヤ	細屋 伸央
青森県	株式会社藤本建設	長谷川 学
青森県	株式会社 NICHUUN	藤本 宏涼

会社名	東北アライアンス建設株式会社
本社所在地	福島県郡山市石湫町 1-9
設立	2025 年 6 月
代表取締役	陰山 正弘 （陰山建設株式会社 代表取締役）
資本金等	資本金 70 百万円／資本準備金 70 百万円
事業内容	建設業

以上